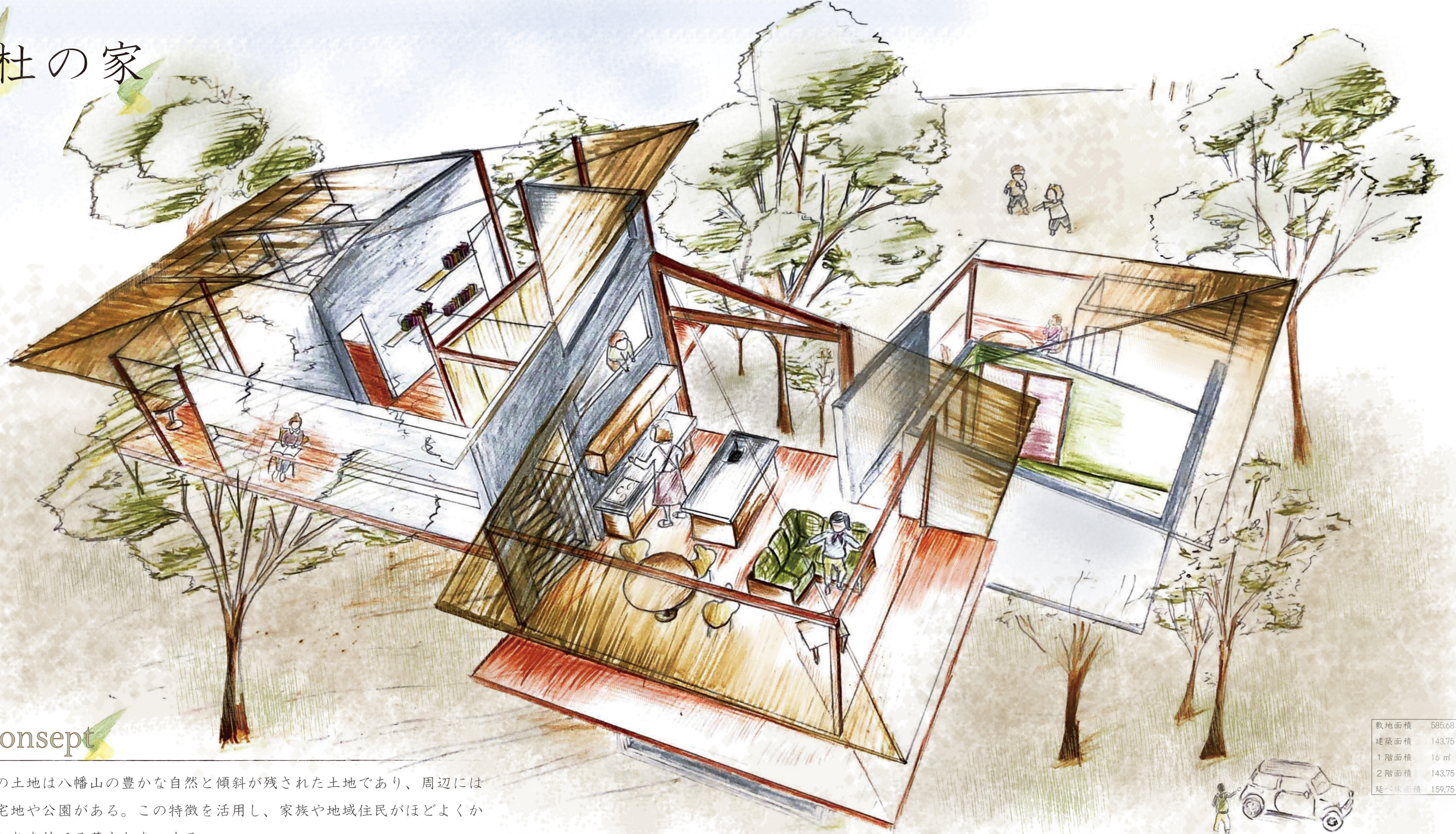


# 杜の家



## Concept

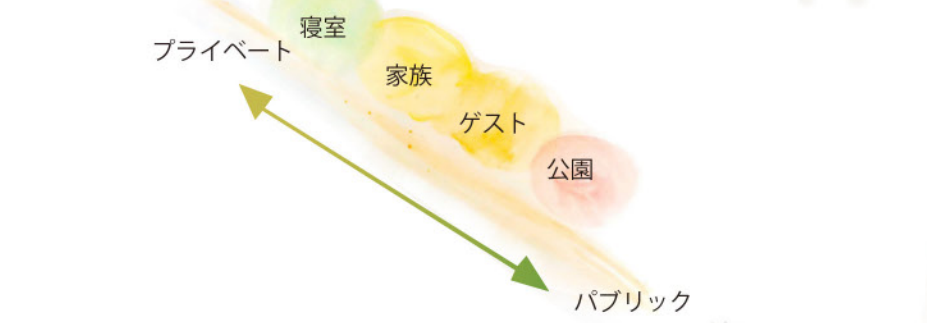
この土地は八幡山の豊かな自然と傾斜が残された土地であり、周辺には住宅地や公園がある。この特徴を活用し、家族や地域住民がほどよくかわりを持てる暮らしをつくる。

土地の特徴である傾斜や緑をヒトとヒトをつなげる仲介役としたい。

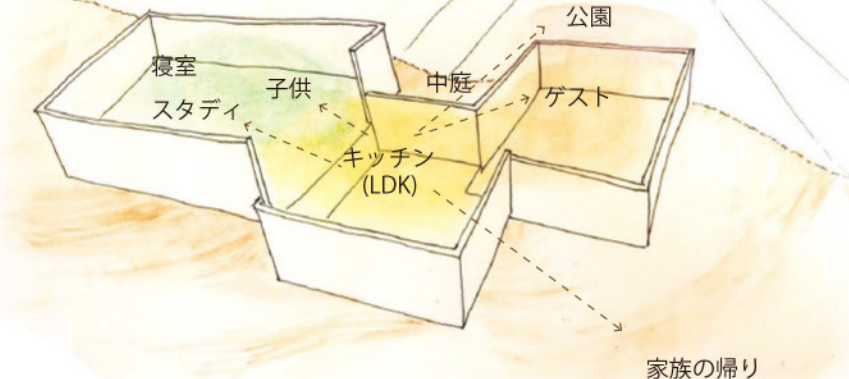
敷地面積	585.68 m <sup>2</sup>
建築面積	143.75 m <sup>2</sup>
1階面積	16 m <sup>2</sup>
2階面積	143.75 m <sup>2</sup>
延べ床面積	159.75 m <sup>2</sup>

## 敷地活用

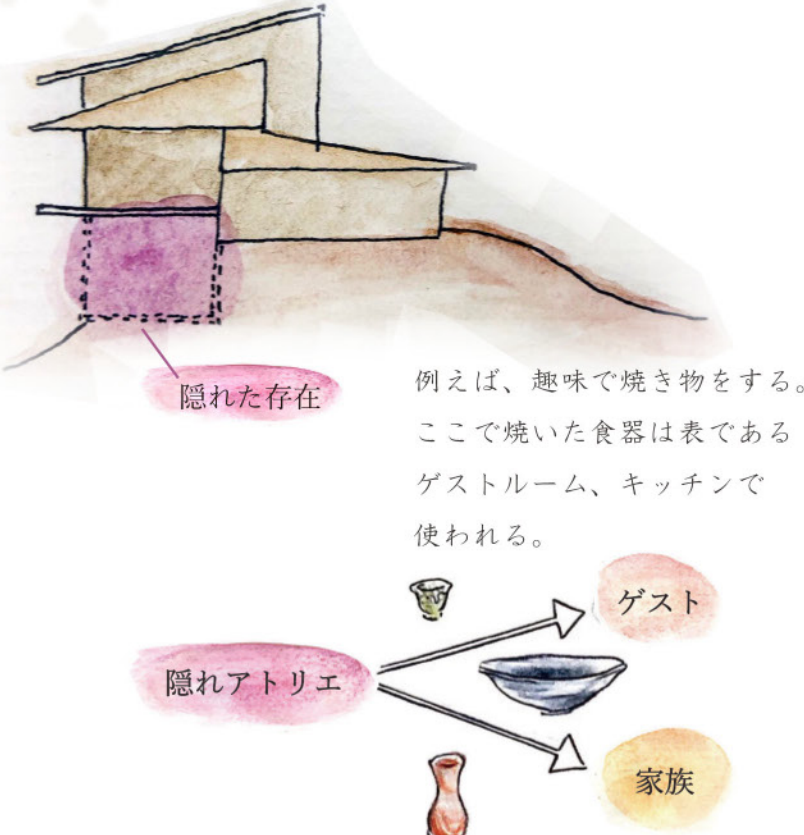
1. プライベートな空間を上パブリックを下に配置。



2. 視線の行き来で家族は見守られる。

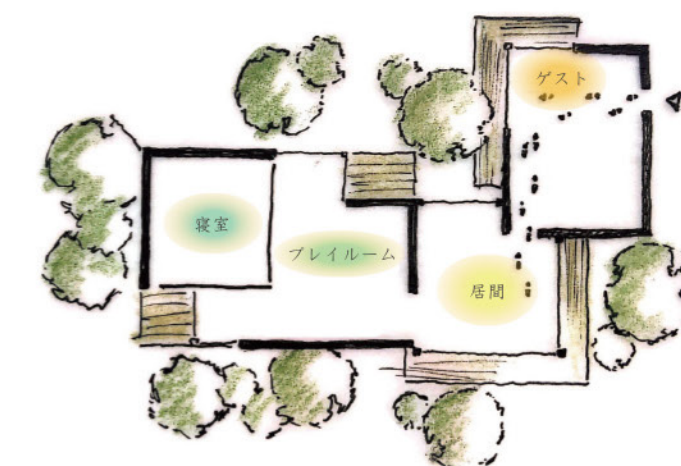


3 住宅に入ると存在が見えない部屋。⇒作業や実験の場



## 緑の活用

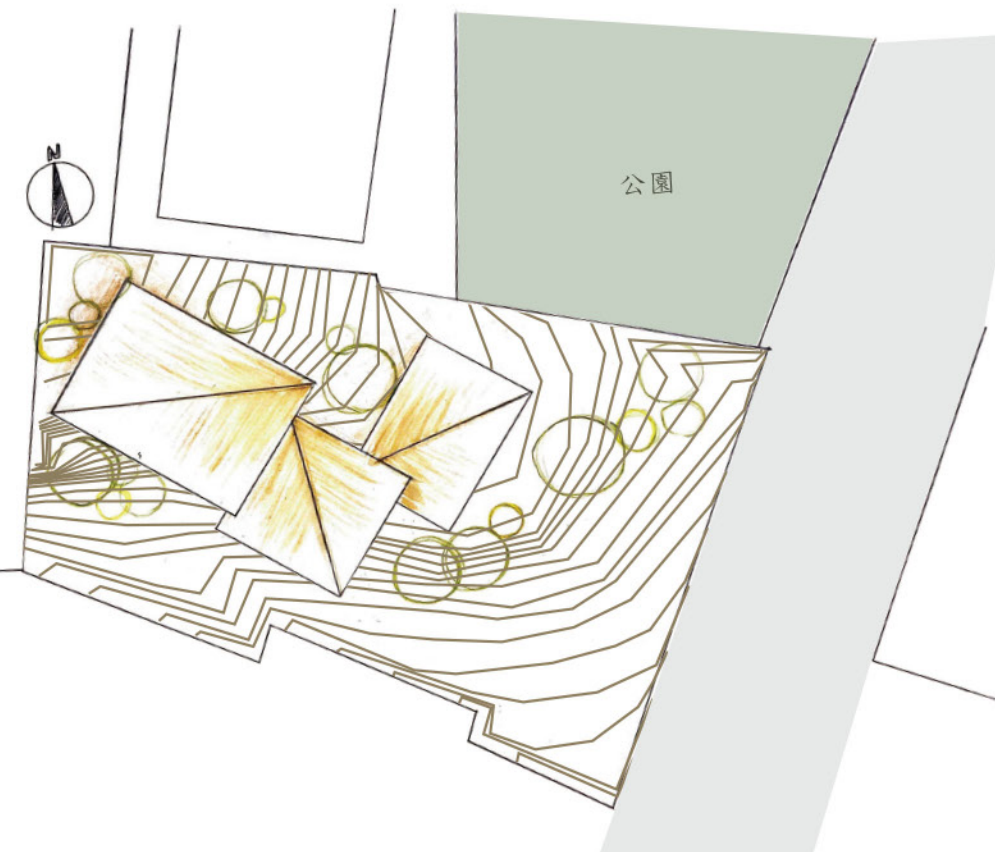
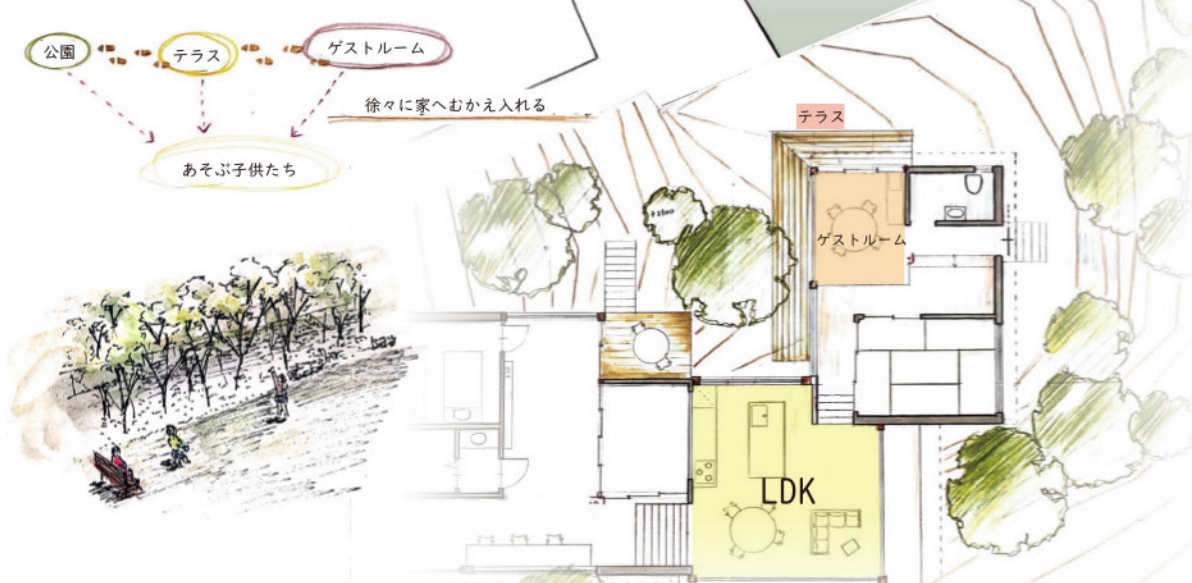
動線の先にヒト、その先に緑とつながる。常に人がつるぐ場の先に大きく開口することで、視線が家族ごしに緑へとぬける。



## 公園活用

あそぶ子供たち、みまもり

公園側にテラスとゲストルームを設け、公園から来客を迎える。例えば、子供が友達と公園で遊んでいる様子をキッチンから見ている。すると友達のお親が子供の様子を見に公園へやってきた。そのまま家へ迎え、遊ぶ子供たちを見守りながら会話を弾ませる。→近所づきあい





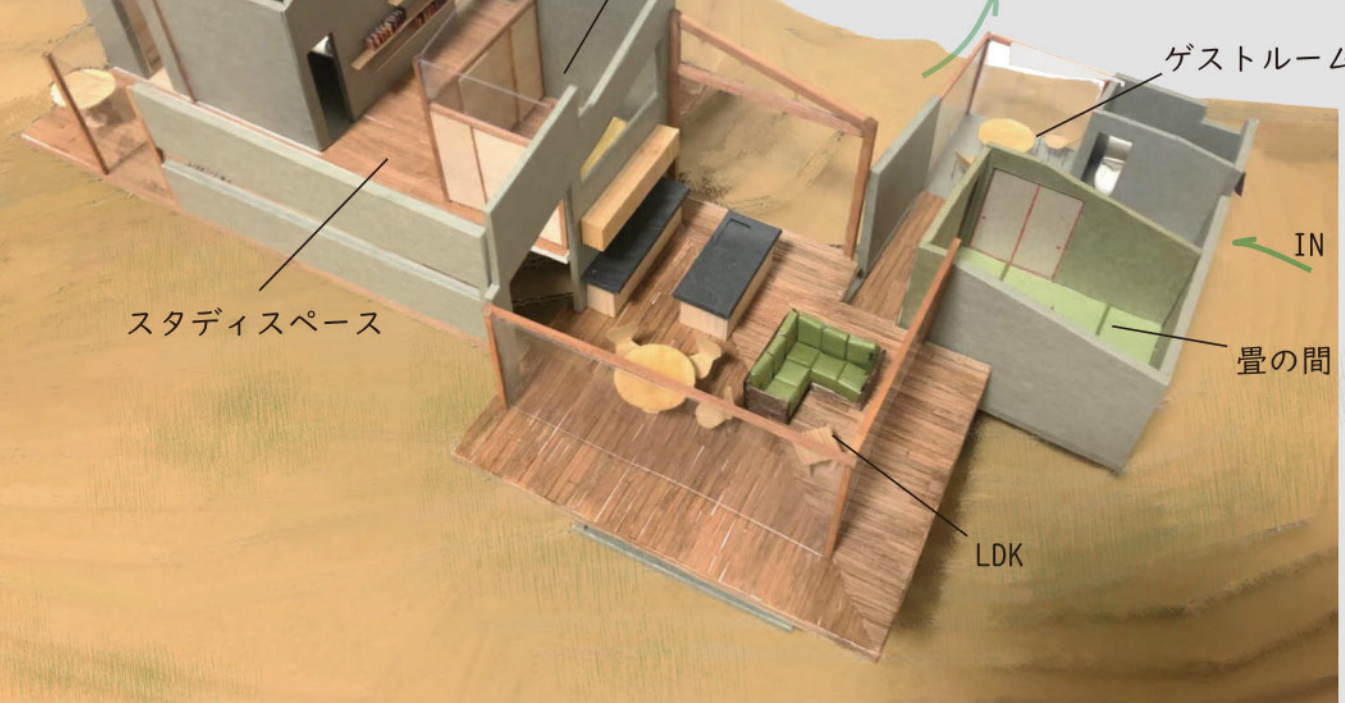


写真 上：南西から 中：北東から 下：南東から